

平成 30 年度 少年消防クラブ交流会（全国大会）の概要



一般財団法人 日本防火・防災協会

平成 30 年度少年消防クラブ交流会(全国大会)の概要

- 1 日 程 平成 30 年 8 月 1 日(水)～8 月 3 日(金)
- 2 主 催 消防庁
- 3 共 催 千葉県 浦安市
公益財団法人 千葉県消防協会、公益財団法人 日本消防協会
一般財団法人 日本防火・防災協会
- 4 参加クラブ 全国少年消防クラブから 56 クラブ
(クラブ員 296 名、指導者 87 名、合計 383 名)
- 5 活動行事の内容

8月1日 1日目

オリエンテーション 参加クラブ活動紹介

千葉県副知事にもご出席いただき、参加クラブによる活動紹介を行いました。普段あまり知る機会がない他のクラブの活動について、参加者は真剣に耳を傾けていました。また、クラブ紹介前には地元チアダンスチーム「新浦安 Rainbow Smiley」の演技を鑑賞しました。



クラブ活動紹介



夕食



チアダンスチームによる演技

8月2日 2日目

合同訓練

今年は記録的な猛暑のため安全を考慮し、浦安市運動公園総合体育館でクラブ対抗障害物競争を行いました。ハードルや平均台、ロープ結索等の障害をクリアしながらアンカーの指揮者は障害に加え二重巻きホースでホースボウリングを行い、合計点を競いました。

訓練の様子は、千葉県知事をはじめ、(公財)千葉県消防協会長、千葉県婦人防火クラブ連絡協議会長等、多くのご来賓の方々に観閲いただきました。



開会式



ハードルやバーを越えるコース



ロープ結索

入賞クラブ紹介



第1位 浦安市少年消防団(千葉県)



第2位 三郷市少年消防クラブ(埼玉県)



第3位 町田消防少年団(東京都)



第4位 府中町少年少女消防クラブ (広島県)



第5位 吉川松伏少年消防クラブ (埼玉県)

8月2日 2日目

救命講習(救急入門コース)

浦安市少年消防団救急リーダーに指導を受けながら心肺蘇生練習キットを使って胸骨圧迫の方法や自動体外式除細動器(AED)の操作方法を学びました。



災害用簡易トイレ 組み立て方法

浦安市女性消防団による「災害用簡易トイレ組み立て方法」を見学し、組み立てた後は実際に便座に腰かけて、普段とは違うトイレを体感しました。

避難所体験



浦安市運動公園総合体育館において、避難所体験としてダンボールハウス作りを行いました。他のクラブ員と混合となるグループに分かれ協力し、ダンボールを使用して区画を作り上げ、床の上に緩衝材を引いた寝床で就寝しました。慣れない環境での生活でしたが、クラブ員にとって貴重な体験となりました。



8月3日 3日目

地元消防団の報告会

浦安市消防団による活動報告会では、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災における消防団活動を紹介します。震災発生後、道路が液状化した浦安市の様子や、市内の避難所に水や食料を届けるなどをした当時の活動の様子について報告していただきました。



地元消防少年団による初期対応訓練

浦安市少年消防団による集団救急事故発生時の初期対応訓練では、階段で将棋倒し事故が起こり、多数の負傷者が出たという想定に対応訓練を披露し、胸骨圧迫による蘇生法や AED を使った訓練、負傷者に三角巾を使った応急処置の訓練を披露していただきました。



解散式 (代表挨拶)



平成 30 年度 少年消防クラブ交流会 (全国大会) スケジュール

8/2

(水)

時 間	内 容
15:00~16:30	受付(シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル)
17:00~17:30	オリエンテーション
17:30~20:00	地元チアダンスチーム鑑賞、クラブ紹介、夕食
20:00~22:00	解散、入浴
22:00~	就寝

会場

・宿泊:シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル(浦安市舞浜 1-9)

8/3

(木)

時 間	内 容
~06:00	起床
06:30~07:30	朝食、荷造り
07:30~08:10	宿泊施設発⇒浦安市運動公園総合体育館着
08:30~09:00	リハーサル
09:00~09:30	開会式
09:30~11:30	合同訓練
11:30~12:30	昼食
12:30~13:00	閉会式
13:30~15:00	少年消防団救急リーダーによる救命講習
15:00~17:00	入浴施設⇒浦安市女性消防団による訓練 ※6 班に分けて
17:15~18:00	夕食
18:00~21:00	避難所体験(ダンボール等を使用)
21:00~22:30	事務連絡、就寝準備
22:30~	就寝

会場

・朝食:シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル

・合同訓練、夕食、避難所体験、宿泊:浦安市運動公園総合体育館
(浦安市舞浜 2-27)

・入浴施設:舞浜ユーラシアホテル(浦安市千鳥 13-20)

8/4

(金)

時 間	内 容
~06:30	起床
07:00~08:30	片付け、朝食、荷造り
08:30~10:30	地元消防団、少年消防団等からの報告会
10:30~	解散式

会場

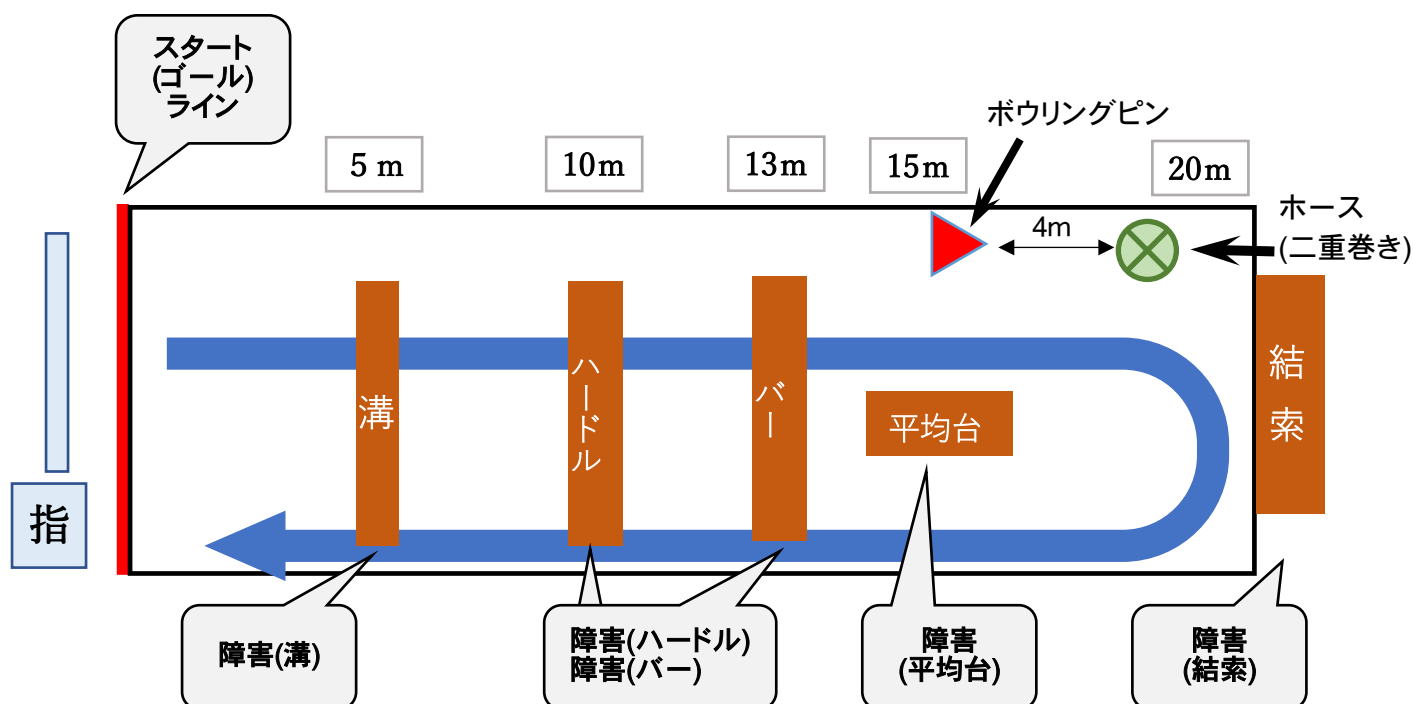
・朝食、報告会:浦安市運動公園総合体育館

合同訓練概要図

クラブ対抗障害物競争

概要

- ・1 クラブ 5 名で行うものとする。
- ・20mのコースを障害(結索)後、折り返すものとする。
- ・ホースポウリングを実施するのは指揮者のみとする。
- ・往路復路とも障害を越えるものとする。
- ・スタートとゴールは同じ位置とする。



	指揮者	1番員	2番員	3番員	4番員
使用資機材	小綱	小綱	小綱	小綱	小綱
共通事項	審判の合図(笛)でスタートし、指揮者がゴールラインを通過するまでのタイムを競う。 1番員と2番員は一緒に障害を越え結索を行い、再度障害を越えスタート位置に戻り、1番員、2番員の両名がゴールラインを越えたら、3番員、4番員は同時にスタートする。 3番員、4番員とも同工程を行い、3番員、4番員の両名がゴールラインを越えたら、指揮者がスタートする。 指揮者は一人で障害を越え結索をした後、ホースポウリングを行う。ホースポウリング後、再度障害を越えながらゴールラインを越える。 なお、競技ルールから逸脱した動作や行動があった場合は減点とし、タイムに加算する。				
競技内容	3番員、4番員がゴールラインを越えたらスタートし、各障害を越え、結索を行い、ホース展張の要領でポウリングピンを倒す。その後、再度障害を越えてゴールラインを越える。全員を成立させて修了。	審判の合図(笛)でスタートし、各障害を越え、結索を行い、再度障害を越えてゴールラインを越える。		1番員、2番員がゴールラインを越えたら、スタートし、各障害を越え、結索を行い、再度障害を越えてゴールラインを越える。	

参加クラブの感想

●伏古本町ひまわり少年消防クラブ（北海道）

-交流会を終えて-

私は今回の交流会で改めて地震が多い日本に住むことが大変かを学びました。

水や食料の不足がない日本国内において、いつ起きるかわからず、対策の難しい地震などの自然災害がいかに恐ろしいものかを地元の人々の体験を伝えていただいたことでより深く認識することができたと感じています。

今後は自分の町が災害にあった時のことを考え、備えをより強化したいと思っています。

-障害物競争と避難所体験-

障害物競争は負けてしまったけれど全力でがんばれたから、良かったです。

避難所体験では、今回、他のチームと協力して、上手に作ったので、良かったと思いました。

体験できて良かったことは、他のチームの人と同じ部屋ですごしたことです。

今回の全国交流大会では、色々なことが勉強になって良かったです。

-命の尊さを知った交流会-

僕は、この交流会を通して命の尊さを知ることができました。僕たちは、三日目に浦安市少年消防団救急リーダーによる救命講習を受けました。そこで心筋梗塞についてと心筋梗塞になった人への対応の仕方を学びました。

日本では一年間で心筋梗塞で亡くなった人が7万人もいて、とてもびっくりしました。しかもその中には僕と同じ中学生の人もいました。

僕はこの経験を通して、人はいつ倒れてもおかしくないことと、もし目の前に倒れていたら一人でも多く助けられたらいいなと思いました。

-ひなん所体験をしてみても-

私は、ひなん所体験をして思ったことがあります。

それは、友達が増えたことです。ひなん所体験だけでなく、ホテルで同じ部屋の人と仲良くなれたと思います。あと、浦安市の昔の被害がよく分かりました。液状化被害の時から、今の浦安市ができるまで、たくさんの人の苦勞があったと知りました。

●山形市南沼原地区少年消防クラブ（山形県）

-交流の大事さ-

交流会に参加し、とてもいい経験をすることができました。交流会では、全国からきた仲間たちといっしょに、協力してダンボールハウスを作ったり、時にはしょうり物競走で戦ったりして、三日間の少ない期間でしたが、多くの仲間とふれ合うことができ良かったです。

自分のチームの結果は、良い結果とは言えなかったけど、上位チームの素早い、てきぱきとした行動を見習い、来年に活かしていきたいです。

交流会で学んだ、仲間の大切さを日々感じながら生活していきたいです。

-山形初の少年消防団-

私たちは、初めて交流会に参加しました。参加して思ったことが二つあります。

一つ目は、短い期間で練習をがんばったことです。5月から練習をしてできないこともあって、本番でできるか心配だったけど練習をていねいにしたから出来たと思いました。

二つ目は、リーダーとしてやることを出来たと思いました。交流会のときにならばせたりしてリーダーとして自覚しました。自分なりに努力すれば出来る可能性があるということを知りました。

●湯河原町少年少女消防クラブ（神奈川県）

-クラブ対抗障害物競争-

走る順番が1番だったのでとても緊張してしまい平均台から2回も落ちてしまいましたが、皆で作戦を計画したり、応援もすごく大きな声を出し合えたり、助け合っできたので楽しかったです。また、交流会に参加して次は勝ちたいです。3日間楽しかったです。

-交流会初日-

全国の少年消防クラブの前でクラブの紹介をするのが、とても緊張してしまい残りの2日間がとても不安になりましたが、他のクラブ員や指導者の方々とお話ししたり協力してダンボールハウスを作成したりして、とても充実し貴重な3日間となりました。

-全国交流会を通して-

私は、少年消防クラブ交流会に参加して他の地区のクラブ員と友達になれて一緒に楽しむことができ良かったと思います。

交流会初日の各クラブの紹介では、みんな個性が強く友達ができるかな？と不安に思いましたが、ダンボールハウスを作るときに他のクラブ員と協力していくうちに、仲良く話せるようになりました。最終日の心肺蘇生訓練はクラブで何度も教わっていましたが改めて学べて良かったです。

●芝消防少年団（東京都）

-交流会に参加して-

今回の交流会は、僕にとって三度目となりました。避難所体験は、友達と協力してしっかりとした囲いを作ることができましたが、前日の柔らかいベッドとの違いは大きく避難所での暮らしの辛さを身に染みて感じました。

合同訓練は、三度目ということに加えて、事前訓練を積み重ねたことにより、今までで最高の記録を出すことができました。これからもこの経験を忘れず、様々な事に活かせるようにしていきたいです。

-交流会での経験を生かして、、、-

僕にとって初めての少年消防クラブ交流会でした。オリエンテーションでは違う消防少年団の人たちと友達になれてよかったです。合同訓練当日は緊張感と楽しさがあふれてきました。自分の担当をしっかりとできたのでほっとしました。

段ボールハウスでは一緒に寝る仲間たちと協力しながら作りました。完成したときはみんなと作った達成感とうれしさがあふれました。今回学んだことを災害時役立てたいと思います。ありがとうございました。

-中学生として-

今回の交流会は、「中学生」として参加しました。昨年の徳島では、初めての事ばかりで緊張しましたが、二回目のこの交流会では、リラックスして競技に臨むことができました。そして12位になることができ、ダンボールハウスでは、どのグループよりも早く作る事ができたりと楽しい思い出になりました。

今回の少年消防クラブ交流会を通じて、僕は「協力の大切さ」を学びました。次回行く機会があれば、そのことを生かして頑張ります。



●河南町ファイアジュニア（大阪府）

ー長くもあり短くもあった三日間ー

日々の練習を重ね、臨んだこの大会。終わった後は一瞬だったなと感じました。一瞬であるこの大会のために練習をしていたのだなと思うと、もっと練習しておけば良かったと感じたりしました。僕はこの十位という結果には満足してなく、失敗だったと思うので、この失敗経験を元に、来年はもっと上位をとれるように頑張りたいです。

ー仲間との大切な思い出ー

ダンボールハウスは、東京の日本橋の人達と一緒に作りました。私は、人に話しかけるのが苦手で最初は不安でした。でも、話しかけてくれて話してみると、とても明るくて、一緒にダンボールハウスを作れて良かったと思いました。私はこの交流会で普段交流できない全国の人達と交流できて本当によかったです。

ー今大会で得たことー

僕は今回の少年消防クラブに参加して、たくさんのことを学び、得て帰ってくることができました。

1つは達成感です。今年は例年に比べて競技の練習を多くしていて、体育館でする競技になっても練習通りに全員が動けて、10位という好成绩になったのでとても思い出になりました。

2つめは地震や人命救助の知識や関心です。人命救助に関するビデオや講習会をしてみてもためになり、考えが深まりました。

●くすばし少年消防クラブ（福岡県）

ーリーダーとしての参加！ー

二度目の全国交流会で僕は初めてリーダーになりました。

自分がリーダーになっていいのかとか、しっかりみんなをまとめられるのか不安でした。しかし、この大会で沢山の事を体験して、みんなを自分なりにまとめて、リーダーとはなんなのかが少し分かった気がしました。そしてまだまだ頑張っていかなければいけないところも分かりました。大切なことがたくさん学べたと思います。

自分たちを指導してくれた人たちにとても感謝しています。

ー人の役に立てる大人になる！ー

全国交流会では一生懸命頑張りました。表彰は無理だったけど、もしまた参加できれば、クラブのみんなと協力して全力で挑みたいです。

一番の思い出は、友達ができたことです。友達と一緒に段ボールハウスを作ったときは、少し大変だったけど、いつもと違う経験ができて、とても楽しかったです。

そして、交流会に参加するために、たくさんの指導者の方たちに支えられているんだなと思いました。大人になったら人の役に立てる人になろうと思いました。



ー全国のたくさんのクラブ員に驚きました！ー

僕は今回の全国交流会に初めて参加してみて、こんなにたくさんのクラブ員がいるということにとっても驚きました。

あと、2泊3日の交流会で、東京ディズニーランドの近くを通ることができ、ベイホテルという大きなホテルで宿泊できました。2日目は段ボールハウスを自分たちで作って、そこで寝ることができて面白かったです。

合同訓練もよかったです。とても楽しかったです。消防クラブの活動をこれからも頑張ろうと思いました。